

第6回 積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と

予防保全に関する検討委員会

議事概要

■ 第6回検討会：令和5年 8月24日（木）

【議 題】

- ・舗装点検・診断に関する情報提供
- ・全国から募集した新たな舗装技術（8社23技術）に関する質疑応答について
- ・今年度の現場実証（試験施工）の予定について

【議事概要】

- 各委員及び事務局より舗装点検・診断に関する情報提供、各委員及び技術開発者より新たな舗装技術に関する質疑応答を行い、以下を確認した。

◇舗装点検・診断に関する情報提供

- ・令和4年度より試行していた、AIを活用した舗装点検・診断（以降AI舗装点検）について、令和5年度から北海道開発局にて本格運用。今年度は点検延長約3,000kmを予定しており、その内約96%でAI舗装点検を予定している。
- ・点検データを蓄積することで、AIモデルの教師データを増やし、バージョンアップさせることが重要である。

◇全国から募集した新たな舗装技術（8社23技術）の紹介について

- ・積雪寒冷地特有の道路損傷に対応した舗装技術を募集した結果、全国から8社23技術の応募があり、各技術に対して、各委員からの試験データ及び性能に関する質問に対し、回答を行う等、意見交換を行った。
- ・今後、各技術の性能を評価し、共通の指標で整理していくことが重要である。

◇今年度の現場実証（試験施工）の予定について

- ・今年度の現場実証（試験施工）は、4技術を4現場で実施予定
- ・補修に関する技術は、市街地や郊外部において、初冬期や融雪期の舗装の損傷が著しい時期の施工を予定している。
- ・コンクリート舗装の断熱工法については、令和5年度より北海道開発局道路設計要領に記載するとともにマニュアルも策定し、本格運用している。今年度は、北斗市と積丹町の現場で採用している。

以上

※ 今年度の現場実証（試験施工）について、3技術を3現場で実施予定に変更（令和5年9月19日時点）